

秋田県立大学 図書館だより



No.23 2011.10

》》》》》》》》》 目次 《《《《《《《《《

構築環境の中の図書館、街の中の本屋

システム科学技術学部図書館運営委員長 荻谷 哲朗…………… 1～2

電子ブック・新データベース紹介…………… 3

図書館のコーナー紹介 / 蔵書状況報告 …………… 4～5

お知らせ…………… 6



構築環境の中の図書館、街の中の本屋

システム科学技術学部図書館運営委員長 荻谷 哲朗

(システム科学技術学部建築環境システム学科教授)

私にとっては、どちらかと言えば、本は見て解説するものであって読むものではない。そういう意味で、図書館運営委員長という役割は、適切ではないかもしれない。

私が一番本を探し求めたのは、パリの街の中である。12年間お世話になった建築家丹下健三先生の事務所では、当時海外の仕事が多く、サウジアラビアやイタリアにも滞在したのだが、パリはのべ2年くらいお世話になった。東京の事務所でも、設計をしていると丹下先生が秘蔵の名著を設計の参考資料としてスタッフに見せにお持ちになることがよくあった。パリのサンジェルマン通りあたりには、いろいろな本屋が

あるのだが、私達建築家の関心事は、建築家や画家・彫刻家の作品集であった。其処で売っている本は、よくて英語、フランス語は普通、イタリア語も数多と言った状態であり、フレンチ・アラビック・ジャパニーズ・イングリッシュで生活していた私たちには、画集、作品集の類いがビジュアル・ランゲージとして機能していたのである。

土日は休みであったので、私達は、パリの街へ繰り出し、夜の12時頃まで開いているサンジェルマン通りの本屋群へ直行した。そこには、宝物の様に、古今東西の芸術家や、新進気鋭の建築家にいたるまでの作品集等が、店一杯に広げ

られていた。Reynal and Company 版の『ミケランジェロ』や『ラファエロ』、『ダビンチ』やルネサンス・バロック期のイタリアの建築家の作品全集 (Electa 版)、フランスの画家の各種作品集をはじめ、毎週1〜2冊ずつ抱えて店を出て、生ガキとワインが待っているレストランにはいる。そこで仲間達と本日の成果を眺め合い、来週は何をさがそうかと考えているうちに、一人当たり1本ずつくらいワインを空けてしまう。私達の本は、読み物というよりは、ワインのおかずのようなものであり、それが、次の週制作活動のかてとなっていたことを、丹下先生もお見通しであったはずである。

パリは、夜が長い都市である。私達がいた当時は、ルーブルやオルセーなどの美術館が、夜に成ってもオープンしていたものである。仕事を終え、食事をした後でも、曜日によっては、エジプトの彫刻やミロのビーナスを展示室に一人もいない様な状態で堪能したものである。また、ミュージアムショップも充実しており、ここにも、数多な美術書や作品集が陳列されていた。ポンピドーセンターや科学技術都市にも様々な美術書や作品集、技術書などの現代芸術が揃っており、私達が手を差し伸べるのを待っていたようであった。

こうして、私達の海外勤務手当は、殆ど高級な絵本に消えたといえるのである。時々、日本に帰るときには、丹下事務所持ちの別送便で段ボール6箱位の洋書の作品集などが東京に運ばれたのであった。ふしぎなのは、この時代に購入した洋書は、ワインの味とともに、何処に何が載っているのか、着実に覚えていることである。ヨーロッパは、芸術としての建築の宝庫であるが、言葉をこえた、ビジュアルイメージとして、私達の脳裏に焼き付けられているのである。原語での読解力があつたならば、さぞかしいろいろなことが脳裏に記録されていたことであつたらう。

ただし、私達建築家は、建築を作るのに、理屈を言って施主の思索をこねまわすこともある

かもしれないが、大事なものは、出来上がる建築が美しく、心地よいことである。建築の設計を志すものは、このような本との接し方でもよいのかもしれないが、建築でも構造や材料、あるいは、県立大学でも他分野の人々からすれば、本を読むのに十分な努力をしているとは言えないであろう。やはり、洋書は原語で読まなければ成らないだろう。建築家の場合は、街を歩いて、実際の構築環境を体験するだけで、大変な勉強になるし、美術書や作品集を眺めるだけで、歴史的環境の情報を身に付けることが出来るが、それ以外の人々は、そうはいかないかもしれない。しかし、建築家以外の人たちが、図書館や美術館や現実の構築環境を体験するだけでも、多少は科学技術や専門分野の知識をかじることが出来るであろう。

さて、東京大学の工学部建築学科の図書館は、もともと、絵画室や丹下健三研究室の製作場所であったところを改築したものである。従って、ハイサイドの光が読書空間に差し込んでいる。その光の先を見ると、名誉教授の大きな肖像写真が飾られている。それにより、名誉教授たちの業績に、図書館を利用する学生たちが敬意を表する様に仕掛けられている。本学本荘キャンパスの図書室にも、そういったスペースがあると、学生達の記憶の底に、図書館で読んだ本だけでなく、本学の歴史と社会貢献が自然と植え付けられていくのではないかと考えられる。本を読むのに、本を読むに適した環境を同時にしつらえて行くことで、科学者の先輩たちとの対話が行われることがあろう。

また、特定の図書館の居場所を持つ学生が、その構築環境とそこで読んだ本の内容を、オーバーラップさせて蘇らせることもあるであろう。どういう本を読んだのか、と言う問いかけに対し、多くの学生が県立大学の図書館の空間をイメージする日を頭の隅に描きつつ、筆をおくことにする。

★電子ブック紹介

Biomedical and Life Science および Engineering 関連のレファレンス図書を中心に
1,153 冊の電子ブックを購入しました！(全キャンパス利用可能)

<閲覧方法>

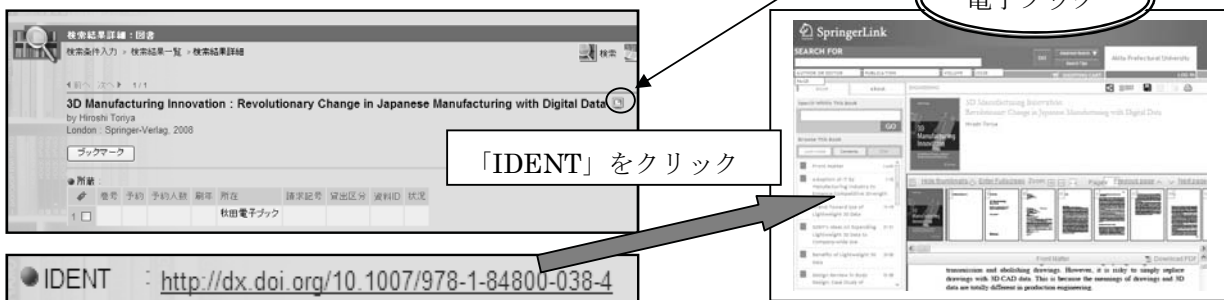
①SpringerLink シュプリンガーリンクのホームページからアクセス

<http://www.springerlink.com/>



②本学蔵書検索(OPAC)による検索から直接アクセス

<OPAC 検索結果詳細>



★新データベース紹介

MathScinet(本荘キャンパスのみ利用可能)

アメリカ数学会 (AMS: American Mathematical Society) が提供する、世界中の数学・応用数学・統計学の文献情報を包括するデータベースです。数学分野で最も権威ある索引誌「Mathematical Reviews」「Current Mathematical Publications」のオンライン版です。

<検索画面> <http://ams.rice.edu/mathscinet/serch.html>



対象分野：数学・統計
収録内容：学術論文の書誌・レビュー
及び著書情報
収録期間：1940年～
更新頻度：毎日
レコード数：学術論文のレビューが約 230 万件

本荘キャンパス 図書館のコーナー紹介

指定図書コーナー

シラバスに掲載されている授業用のテキストおよび参考書



指定図書の背には緑色の丸シールを貼っています。赤い禁帯出のシールが貼っている図書は、館内利用のみとなります。



高等学校用教科書



就職関係図書コーナー

面接本やエントリーシートの書き方など就職に関する図書



指定図書コーナーの中に
高等学校用教科書(工業・
化学・物理・生物・地学)
も置いています。

秋田関係図書コーナー



秋田県に関する郷土資料を揃えています。
通常の図書と同様に貸出可能です。

蔵書状況報告

蔵書冊数（平成23年3月31日現在）

	和 図 書	洋 図 書	視聴覚資料	合 計
秋田キャンパス	54,822	14,040	1,617	70,479
本荘キャンパス	68,812	19,079	1,873	89,764
大潟キャンパス	43,028	6,170	899	50,097
木材高度加工研究所	7,699	753	106	8,558
合 計	174,361	40,042	4,495	218,898

年間購入雑誌種数（平成22年度）

	和 雑 誌	洋 雑 誌	合 計	電子ジャーナル
秋田キャンパス	120	94	214	1,990
本荘キャンパス	199	110	309	
大潟キャンパス	17	17	34	
木材高度加工研究所	3	6	9	
合 計	339	227	566	1,990

所蔵新聞

	秋田キャンパス	本荘キャンパス	大潟キャンパス	木材高度加工研究所
秋田魁新報	2005年～保存	1999年～保存	1年保存	半年保存
朝日新聞	1年保存	1999年～保存	1年保存	—
河北新報	1年保存	1年保存	—	—
林材新聞	—	—	—	2005年～保存
産経新聞	1年保存	1年保存	—	—
日刊工業新聞	—	1年保存	—	—
日刊木材新聞	—	—	—	1996年～保存
日刊スポーツ	1年保存	1年保存	—	—
日経産業新聞	—	1年保存	—	—
日本教育新聞	1年保存	1年保存	—	—
日本経済新聞	1年保存	1年保存	1年保存	半年保存
日本工業新聞	—	1年保存	—	—
日本農業新聞	1年保存	—	1年保存	—
北羽新報	—	—	—	半年保存
毎日新聞	1年保存	1年保存	1年保存	—
読売新聞	1年保存	1年保存	1年保存	—
The Japan Times	1年保存	1年保存	—	—
The Newyork Times	2000年～保存	2000年～保存	—	—

報告

本学の図書館が当番校として「平成23年度公立大学図書館協議会研修会」をホテルメトロポリタン秋田で開催しました！『電子書籍と図書館』というテーマで活発な意見が交わされました。



冬季休業期間中の図書館利用について

冬季休業期間は12/24（土）～1/6（金）です。
期間中は開館時間および学生、院生への貸出冊数に変更となります。

	貸出冊数		貸出期間 * 逐次刊行物は通常期と同じ		
	通常期	休業期間中	図書/音声資料	逐次刊行物	逐次刊行物 (最新号)
学 生	5冊まで	10冊まで	2週間以内	3日以内	1日以内
院 生	10冊まで	15冊まで	2週間以内	3日以内	1日以内
教 職 員	15冊まで	15冊まで	1ヶ月以内	1週間以内	1日以内

* 学生・院生は、12月9日（金）～28日（水）に貸出した図書、音声資料の返却期限が1月13日（金）となります。（教職員は通常期と同じです。）

2011年10月							2011年11月							2011年12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
30	31																			

<開館時間>			有人開館	無人開館
秋田キャンパス	<input type="checkbox"/> 平日	10月3日～12月22日 12月26日～	8:30～19:00 8:30～17:00	19:00～22:00 17:00～22:00
	<input checked="" type="checkbox"/> 土日祝日	10月1日～12月23日 12月24日～		9:00～19:00 9:00～17:00
本荘キャンパス	<input type="checkbox"/> 平日	10月3日～12月22日 12月26日～	8:30～18:00 8:30～17:00	18:00～23:00 17:00～23:00
	<input checked="" type="checkbox"/> 土日祝日	10月1日～12月23日 12月24日～		9:00～19:00 9:00～17:00
大潟キャンパス	<input type="checkbox"/> 平日	10月3日～12月22日 12月26日～	9:00～17:00	17:00～22:00
	<input checked="" type="checkbox"/> 土日祝日	10月1日～12月23日 12月24日～		9:00～19:00 9:00～17:00

* 12月29日（木）～1月3日（火）は、完全休館日となります。
* 12月28日（水）は、資料整理日のため8:30～17:00まで休館となります。

秋田県立大学 図書館だより No.23 2011年10月発行

秋田県立大学 図書・情報センター <http://www.akita-pu.ac.jp/library/index.htm>

- 秋田キャンパス 〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241-438
TEL:018-872-1561 FAX:018-872-1674 E-mail:a_library@akita-pu.ac.jp
- 本荘キャンパス 〒015-0055 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL:0184-27-2049 FAX:0184-27-2185 E-mail:h_library@akita-pu.ac.jp
- 大潟キャンパス 〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南2-2
TEL:0185-45-2028 FAX:0185-45-2021 E-mail:toshokan@akita-pu.ac.jp
- 木材高度加工研究所図書室 〒016-0876 能代市海詠坂11-1
TEL:0185-52-6900 FAX:0185-52-6924 E-mail:m_library@iwt.akita-pu.ac.jp

※ご意見・ご要望等をお寄せください。